

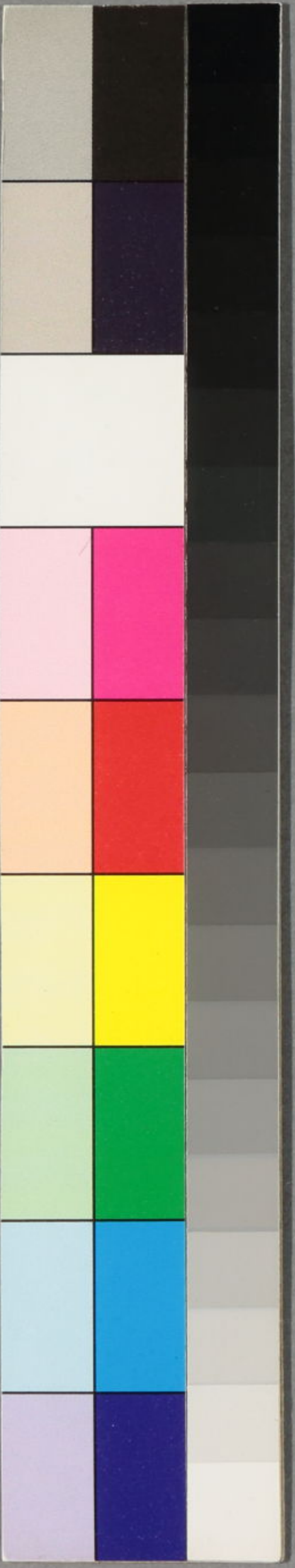
武州金澤

飛石金龍院藏板

# 西湖八景詩歌

里俗相傳謂西湖之八詠在我金澤  
其奇而嗜好雖名家不可得哉故寫  
和漢詩歌以備觀光之具云

千厓文庫  
文庫24  
A1192





瀟湘夜雨

南宋瑩玉礪



先自空江易斷魂  
孤燈蓬裡聽蕭瑟

凍雲粘雨濕黃昏  
祇向竹枝添淚痕

冷泉中納言為相卿

みづのこゝろ ぼんやり 聲 ぶきし 夜の雨 浅  
かき けり けり けり けり けり けり けり けり けり

山市暗嵐

一竿酒旆斜陽裏

數簇人家煙嶂中



山路醉眠歸去晚 太平無日不春風

あはれなるのよきことなき人れはたふれり  
あはれなるのよきことなき人れはたふれり

江天暮雪

雲淡天低糝玉塵 扁舟一葉寄吟身  
前灣咿嘍數聲櫓 疑是山陰乘興人

あはれなるのよきことなき人れはたふれり  
あはれなるのよきことなき人れはたふれり

洞庭秋月

西風剪出暮天霞 萬頃煙波浴桂花  
漁笛不知羈客恨 直吹寒影過蘆花

あはれなるのよきことなき人れはたふれり  
あはれなるのよきことなき人れはたふれり

平沙落雁

古字書空淡墨橫 幾行秋雁下寒汀  
蘆花錯作衡陽雪 誤向斜陽刷凍翎

あはれなるのよきことなき人れはたふれり  
あはれなるのよきことなき人れはたふれり



煙寺晚鐘

雲逸不見梵王宮  
殷々鐘聲訴晚風  
此去上方猶遠近  
為言唯在此山中

うれあし 秋高なるを 鐘の音ふ  
よとる方人 其の みる色 心ゆく 那

遠浦歸帆

鷺界青山一抹秋  
湖平銀浪接天流  
歸橋漸入蘆花去  
家在夕陽江上頭

かきむじうふ 暮乃う 幾ふと 暮らとる事  
釣とぬ くれい かつふ ぬ人

漁村夕照

薄暮沙汀惑亂鴉  
江南江北鬧魚蝦  
呼童賞酒大家醉  
卧見西風舞荻花

彼れ色は けり 川の 石も けり 夕日みへす  
いふ 妻も けり 夕日みへす けり の けり



